

## EXERCISE 130

〔妊婦が入院したら〕  
会陰切開の方法

Q 653 次の会陰切開法のうち、最も施行される頻度の多い組み合わせはどれか。

1. 側切開法
  2. 正中側切開法
  3. 正中切開法
  4. Schuchardtの切開法
- a) 1 2    b) 2 3    c) 3 4    d) 1 3    e) 2 4

Q 654 会陰切開の適応で正しいのはどれか。

1. 会陰の伸展が不良な場合
  2. 未熟児分娩の場合
  3. 巨大児分娩の場合
  4. 恥骨弓が鋭角な場合
- a) 1 3 4    b) 2 3    c) 3 4    d) 4    e) すべて

Q 655 会陰正中側切開法につき誤っているのはどれか。

- a) 初心者にも勧められる最も多く施行されている切開法である
- b) 第Ⅲ・Ⅳ度裂傷の回避という点からみて、優れた切開法である
- c) 創部の腫脹・疼痛が少なく、創傷治癒の面からみて理想的な切開法である
- d) 陣痛発作に合わせ、必要十分な切開を一気に加えるのが望ましい
- e) 切開の方向は右斜めでも左斜めでも、術者の好みで構わない

Q 656 会陰正中切開法につき正しいのはどれか。

- a) 切開の大きさに対する会陰の開大効果は他の切開法に比べ劣る
- b) 急速遂娩などで多用される切開法である
- c) 陣痛発作に合わせて一気に切開を加えるのが望ましい
- d) 肛門に向かう切開のため、疼痛・腫脹が長引きやすいのが欠点である
- e) 会陰腱中心の部位を切開するため、出血は少ない。

Q 657 会陰切開縫合につき正しいのはどれか。

- a) 腔壁の縫合では、創断端を越えた奥より縫合を開始してはいけない
- b) 縫合糸は太いほうが創部離開が起こらず理想的である
- c) 運針がしやすいので角針が丸針よりも適している
- d) 皮膚縫合を抜糸をしなくてもすむよう、カットグートを使用するのがよい
- e) 縫合終了後、直腸診を行うのが望ましい